

2026年JAF四国ジムカーナ選手権第1戦

2026年JMRC全国オールスター選抜ジムカーナ第1戦

DCRジムカーナ'2026

主催：ドライバーズクラブブルーキー（DCR）

開催日：2026年3月22日

場所：瀬戸内海サーキット

レポート：JMRC四国 広報担当

写真提供：ゆきねえ☆

R3クラスは土居明生選手が優勝で復帰戦を飾る PNクラスはベテランを抑えて星川栞人選手が初優勝

これまでより1戦増えた全8戦で争われる今シーズンのJAF四国ジムカーナ選手権の開幕戦が瀬戸内海サーキットを舞台に開催され、選手権対象外クラスを含めて42名の選手が参加し、熱戦を繰り広げた。R1クラスは、昨年のCLクラスを経て選手権に復帰した三井康司選手が第1ヒートをリード。第2ヒートもタイムを伸ばし、優勝を決めた。昨シーズンのチャンピオン不在のR2クラスは昨シーズン2位の西尾吏巧選手が第1ヒートをリード。ウイニングランとなった第2ヒートもタイムを伸ばし、優勝した。R3クラスは、昨年の活動休止を経て新たな車で復帰した土居明生選手が第2ヒートで逆転し、優勝した。R4クラスは、昨シーズンまでこのクラスで5年連続でチャンピオンを続けてきた山下和実選手が転勤で不在に。昨シーズン2位の竹下俊博選手とランサーからヤリスに乗り換えた3位の佐藤忍選手のヤリス対決となり、竹下選手が優勝した。BSC1クラスは、昨年のチャンピオン田中康一選手が第1ヒートをリード。僅差で窪田竜三選手、そして中国地区から遠征の有田光徳選手が追う展開であったが、第2ヒートは追いかける両選手がタイムダウン。ウイニングランとなった田中選手は更にタイムを伸ばし、優勝を飾った。昨シーズンは徳永秀典選手と天満清選手が優勝を分け合いチャンピオン争いが最終戦まで纏れ込んだPNクラス。今シーズンもこの2人によるチャンピオン争いが予想される中、2人を抑えて僅差の争いを制したのは中国地区参戦を経て昨シーズン途中から四国地区戦に参戦している若手の星川栞人選手。昨シーズンは当初はペナルティで低迷したものの最終戦では5位に。そして今回、第2ヒートで見事、初優勝を決めた。



R1クラス優勝の三井康司選手



R1クラス2位の蓬茨夕美選手



R 2 クラス優勝の西尾吏巧選手



R 2 クラス 2 位の道下貴広選手



R 3 クラス優勝の土居明生選手



R 3 クラス 2 位の下川和大選手



R 4 クラス優勝の竹下俊博選手



R 4 クラス 2 位の佐藤忍選手



B S C 1 クラス優勝の田中康一選手



B S C 2 クラス 2 位の窪田竜三選手



P N クラス優勝の星川菜人選手



P N クラス 2 位の徳永秀典選手



R 1 クラス入賞者



R 2 クラス入賞者



R 3 ラス入賞者



R 4 クラス入賞者



B S C 1 クラス入賞者



P N クラス入賞者